



平成24年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成24年2月2日

上場取引所 東

上場会社名 株式会社 アルメディオ
コード番号 7859 URL <http://www.almedio.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長
問合せ先責任者 (役職名) 取締役管理本部長
四半期報告書提出予定日 平成24年2月14日

(氏名) 飯沼 芳夫
(氏名) 高柳 光正

TEL 042-397-1780

配当支払開始予定日 —
四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有
四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成24年3月期第3四半期の連結業績(平成23年4月1日～平成23年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
24年3月期第3四半期	1,671	△13.0	△219	—	△221	—	△111	—
23年3月期第3四半期	1,921	△3.1	55	—	57	—	22	—

(注) 包括利益 24年3月期第3四半期 △120百万円 (—%) 23年3月期第3四半期 10百万円 (—%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
24年3月期第3四半期	△23.37	—
23年3月期第3四半期	4.74	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
24年3月期第3四半期	5,072	4,415	87.1
23年3月期	5,245	4,583	87.4

(参考) 自己資本 24年3月期第3四半期 4,415百万円 23年3月期 4,583百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
23年3月期	—	5.00	—	5.00	10.00
24年3月期	—	5.00	—	—	—
24年3月期(予想)	—	—	—	5.00	10.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成24年3月期の連結業績予想(平成23年4月1日～平成24年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	2,263	△12.5	△295	—	△260	—	△143	—	△29.98

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

4. その他

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 有
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

- ① 期末発行済株式数(自己株式を含む)
- ② 期末自己株式数
- ③ 期中平均株式数(四半期累計)

24年3月期3Q	5,225,000 株	23年3月期	5,225,000 株
24年3月期3Q	455,312 株	23年3月期	455,235 株
24年3月期3Q	4,769,694 株	23年3月期3Q	4,782,405 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

・この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

・本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、四半期決算短信(添付資料)3ページ「連結業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

※四半期決算補足説明資料関係

・当該補足説明資料は、Financial Data Bookとして当社ウェブサイト(<http://www.almedio.co.jp/>)のIRニュースに掲載いたします。Financial Data Bookには、製品別売上高ほか業績推移等をまとめております。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報	3
(3) 連結業績予想に関する定性的情報	3
2. サマリー情報(その他)に関する事項	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	3
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	3
3. 四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	6
四半期連結包括利益計算書	7
(3) 継続企業の前提に関する注記	8
(4) セグメント情報等	8
(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第3四半期連結累計期間におけるわが国経済は、東日本大震災の影響による電力供給やサプライチェーンの制約などにより企業の生産活動は一時大きく低迷したものの、その後これら厳しい状況を克服し、震災復興需要が広がるなど景気は持ち直しの動きで推移しました。しかしながら、円高が長期化し、欧州債務問題による世界経済の下振れ懸念が高まる中で、景気は足踏み状態となっております。

当社グループの関連する情報家電業界は、平成23年7月に被災3県を除き地上波テレビ放送が完全デジタル化されたなかで、薄型テレビ、Blu-ray Disc（以下「BD」）レコーダー、関連PCなどの販売が概ね堅調な推移となりました。また、カーオーディオ・カーナビ等の車載機器は、震災による自動車産業の減産等により一時需要が急減したもののサプライチェーンの復旧が進み足下では回復基調で推移しました。しかし、長引く国内の景気低迷と震災による生活防衛意識の高まり、海外景気の下振れ懸念、或いは廉価製品のニーズが高い新興国需要の増加等を背景に情報家電製品の市場価格は下落傾向にあり、さらに円高も加わるなかで企業の収益性低下は鮮明になりつつあります。

このような状況下で、タイの洪水被害が平成23年10月以降拡大し、現地製造の電子部材等のサプライチェーンが分断され、震災から回復途上の企業の生産活動に停滞を余儀なくさせています。

また、音楽映像業界においては、音楽CDの需要減少が引き続き進行し、映像ソフトにおいても、DVDからBDへの置き換えという構図の中で全体需要は概ね横這いで推移しており、厳しい事業環境が継続しております。

一方、断熱材事業に関する各種工業炉用炉材の関連市場は、鉄鋼需給において国内の粗鋼生産が自動車を主体とした製造業向けによって回復基調を示しており、海外でも中国を主体に需要が高水準で推移していることから、鉄鋼、自動車鋼板或いは半導体などの製造業向けに各種工業炉用炉材の需要は旺盛となっております。

このような環境のもと当社グループは、新規顧客開拓と既存顧客への拡販に向けたマーケティング活動に重点指向し取組んでまいりましたが、収益は伸び悩み、当第3四半期連結累計期間の業績は、売上高16億71百万円（前年同四半期比13.0%減）、営業損失2億19百万円、経常損失2億21百万円、四半期純損失1億11百万円となりました。

各セグメントの業績は次のとおりであります。

テストメディア事業

当事業は、オーディオ・ビデオ機器やコンピュータ周辺機器等の規準及び調整用テストディスク等の開発・製造・販売を行う「テストメディア」と、DVDベリフィケーションラボラトリ及びBDテストセンターとしての認証テスト及び各種ディスクの特性テスト受託等を行う「テストティング」が含まれます。

テストメディアは、震災後、自動車産業の減産やサプライチェーンの制約から大きく落ち込んでいた車載機器及びAV機器等の生産量が徐々に回復の兆しを見せながらも、歴史的な円高が続く中での新興国向け廉価製品へのシフト等を背景に、顧客メーカーは生産工程の見直しを含めた一層のコスト削減を進めており、需要が低迷する中で、タイの洪水被害の影響により生産調整の動きが拡大し、売上は前年同四半期を大幅に下回り低迷しました。

テストティングは、ハード機器関連の評価受託などテストアイテムの拡充を図りながらサービス展開を図ったものの、受託件数が伸び悩み、売上は前年同四半期を下回る低調な結果となりました。

以上により、テストメディア事業の売上高は4億38百万円（前年同四半期比49.1%減）となりました。

クリエイティブメディア事業

当事業は、CD・DVD・BDのOEM製造・販売を行っております。

クリエイティブメディアは、震災に配慮した業界の活動自粛は緩和に向かったものの、音楽CDを中心とした作品の減少等を背景に受注環境全体は低調な推移となり、DVD・BD受託も伸び悩んだことから売上は前年同四半期を下回る結果となりました。

以上により、クリエイティブメディア事業の売上高は7億59百万円（前年同四半期比11.8%減）となりました。

断熱材事業

当事業は、連結子会社・阿爾賽（蘇州）無機材料有限公司において、電子部品用副資材、耐火材料及び関連製品の開発・製造・販売を行っております。

阿爾賽は、中国国内を中心とした各種工業炉用炉材など耐火材料の旺盛な需要に対応し、売上は前年同四半期を上回る推移となりました。

以上により、断熱材事業の売上高は4億70百万円（前年同四半期比137.2%増）となりました。

その他事業

当事業は、光メディア用計測器等の開発・製造・販売を行っております。

その他事業は、小規模ながらDVD用計測器等の販売を行いました。

以上により、その他事業の売上高は3百万円（前年同四半期比195.6%増）となりました。

(2) 連結財政状態に関する定性的情報

当第3四半期連結会計期間末における総資産は現金及び預金の減少等により、前連結会計年度末と比較して1億73百万円減少し、50億72百万円となりました。負債は賞与引当金の減少等により5百万円減少し、6億56百万円となりました。純資産は、四半期純損失の計上及び配当金の支払に伴う利益剰余金の減少等により1億67百万円減少し、44億15百万円となりました。

(3) 連結業績予想に関する定性的情報

平成24年1月30日付け「業績予想の修正に関するお知らせ」にて公表いたしましたとおり、今後のわが国経済は、震災復興需要の本格化など景気回復に繋がる動きがある一方で、円高の定着と欧州債務問題による世界経済の減速等、先行き不透明な状況で推移すると見込まれます。

このような状況の中、当社主力のテストメディア事業は、顧客企業が震災からの回復途上でタイ洪水被害による生産調整を余儀なくされた為、受注環境が悪化し、断熱材事業が中国を中心とした旺盛な需要もあって好調な推移を見込んでいるものの、テストメディア事業の低迷を補えず、当社グループの連結業績としましては、非常に厳しい見通しとなっております。

以上により、当社グループの通期連結業績予想は、売上高22億63百万円（前期比12.5%減）、営業損失2億95百万円、経常損失2億60百万円、当期純損失1億43百万円を計画しております。

2. サマリー情報(その他)に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

当社の退職給付制度は、退職金制度の一部について適格退職年金制度を採用し、残額については退職一時金を充当しておりましたが、平成23年10月1日付で、適格退職年金制度を廃止し、その一部を確定拠出年金制度へ移行いたしました。

また、当社はこの制度移行に伴い、現在の従業員規模では、原則法によると合理的に退職給付債務の見積りを行うことが困難となったため、退職給付債務の算定方法を原則法から簡便法に変更いたしました。

この移行に伴う会計処理については、「退職給付制度間の移行等に関する会計処理」（企業会計基準適用指針第1号 平成14年1月31日）を適用し、第3四半期連結会計期間において47,982千円の特別利益を計上いたしました。

3. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成23年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成23年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,876,186	1,766,102
受取手形及び売掛金	513,598	501,439
商品及び製品	82,355	92,781
仕掛品	87,825	71,561
原材料及び貯蔵品	138,226	144,350
その他	87,196	98,035
貸倒引当金	△1,000	△2,874
流動資産合計	2,784,388	2,671,396
固定資産		
有形固定資産		
土地	1,344,653	1,344,123
その他(純額)	507,580	512,315
有形固定資産合計	1,852,234	1,856,439
無形固定資産		
のれん	317,940	238,455
その他	17,468	14,046
無形固定資産合計	335,409	252,502
投資その他の資産	273,616	291,672
固定資産合計	2,461,259	2,400,613
資産合計	5,245,648	5,072,009

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成23年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成23年12月31日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	142,110	122,458
短期借入金	17,000	90,160
未払法人税等	6,416	4,197
賞与引当金	64,375	34,417
その他	103,157	146,136
流動負債合計	333,059	397,370
固定負債		
退職給付引当金	281,643	242,775
その他	47,445	16,080
固定負債合計	329,088	258,855
負債合計	662,147	656,226
純資産の部		
株主資本		
資本金	918,200	918,200
資本剰余金	871,580	871,580
利益剰余金	3,169,647	3,010,504
自己株式	△362,818	△362,837
株主資本合計	4,596,608	4,437,447
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	3,036	△706
為替換算調整勘定	△16,145	△20,957
その他の包括利益累計額合計	△13,108	△21,663
純資産合計	4,583,500	4,415,783
負債純資産合計	5,245,648	5,072,009

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 四半期連結損益計算書
 第3四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年12月31日)
売上高	1,921,432	1,671,562
売上原価	1,182,550	1,196,882
売上総利益	738,882	474,680
販売費及び一般管理費	683,105	694,619
営業利益又は営業損失(△)	55,777	△219,939
営業外収益		
受取利息	3,161	2,354
受取配当金	1,279	1,293
作業くず売却益	1,885	2,126
保険戻戻金	2,878	740
その他	2,056	1,722
営業外収益合計	11,260	8,237
営業外費用		
支払利息	443	1,322
為替差損	8,577	8,344
その他	359	249
営業外費用合計	9,380	9,916
経常利益又は経常損失(△)	57,657	△221,618
特別利益		
固定資産売却益	—	0
貸倒引当金戻入額	7,329	3,711
投資有価証券売却益	—	1,590
退職給付制度改定益	—	47,982
特別利益合計	7,329	53,283
特別損失		
固定資産除却損	1,170	6,763
投資有価証券評価損	4,453	—
減損損失	1,601	—
特別損失合計	7,225	6,763
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	57,761	△175,097
法人税、住民税及び事業税	3,030	7,096
法人税等調整額	32,055	△70,748
法人税等合計	35,085	△63,652
少数株主損益調整前四半期純利益又は少数株主損益調整前四半期純損失(△)	22,675	△111,445
少数株主利益	—	—
四半期純利益又は四半期純損失(△)	22,675	△111,445

四半期連結包括利益計算書
第3四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年12月31日)
少数株主損益調整前四半期純利益又は少数株主損益調整前四半期純損失(△)	22,675	△111,445
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	1,996	△3,743
為替換算調整勘定	△13,820	△4,811
その他の包括利益合計	△11,823	△8,554
四半期包括利益	10,852	△120,000
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	10,852	△120,000
少数株主に係る四半期包括利益	—	—

(3) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(4) セグメント情報等

I 前第3四半期連結累計期間(自 平成22年4月1日 至 平成22年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント				合計
	テストメディア 事業	クリエイティブ メディア 事業	断熱材事業	その他事業	
売上高					
外部顧客への売上高	860,532	861,618	198,226	1,056	1,921,432
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	—	—	—
計	860,532	861,618	198,226	1,056	1,921,432
セグメント利益又は損失(△)	382,985	74,329	5,449	△49,640	413,124

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位：千円)

利益	金額
報告セグメント計	413,124
全社費用(注)	△357,346
四半期連結損益計算書の営業利益	55,777

(注) 全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

II 当第3四半期連結累計期間(自 平成23年4月1日 至 平成23年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント				合計
	テストメディア 事業	クリエイティブ メディア 事業	断熱材事業	その他事業	
売上高					
外部顧客への売上高	438,282	759,972	470,185	3,121	1,671,562
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	—	—	—
計	438,282	759,972	470,185	3,121	1,671,562
セグメント利益又は損失(△)	63,874	23,986	84,864	△64,449	108,275

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位:千円)

利益	金額
報告セグメント計	108,275
全社費用(注)	△328,215
四半期連結損益計算書の営業損失(△)	△219,939

(注) 全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報
該当事項はありません。(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記
該当事項はありません。